

2019年度難病ITコミュニケーション（導入編・実践編）

# 支援講座のご案内

各回定員  
**40名**  
受講料無料

自分の気持ちを周囲に伝えたい。

周囲に文章を作って気持ちが伝えられる

周りの景色を眺めたい。

写真や絵を使って気持ちを表現できる

それは身体の自由が奪われ、話すことさえ困難になっていく、さまざまな難病と闘う患者さんの切実な願いです。

DVDやテレビを操作して鑑賞できる

本をめくって読むことができる

遠くの人にメールで思いを伝えられる

ゲームを楽しむことができる

本やテレビを自由に楽しみたい。

会場：西新潟中央病院ラベンダーホール 時間：10:00～16:15

導入編 8月31日（土） 申込締切8/23（金）		実践編 11月30日（土） 申込締切11/22（金）	
【コミュニケーション支援を理解しよう！】 コミュニケーション支援の考え方とその方法、患者さんとの向き合い方などを総合的に学びます。		【明日から使える匠のワザ、教えます！】 評価・機器選定・制度利用といった一連の導入過程を、仮想事例を用いたディスカッション形式で学びます。	
10:10	「その人らしく生きていくために」 どんな方向性で支援するか（医師）	10:10	【講義】 コミュニケーション支援の考え方
10:50	機器体験 “伝の心” “視線入力装置” “周辺機器” “iPad” 他、最新機器等	10:45	【実習】 コミュニケーション支援機器の種類と選択
13:00	生きる力「コミュニケーション」 ALS等の進行性神経難病のコミュニケーション支援について（本間武蔵氏 ※裏面参照）	13:00	【講義】 公的支援制度の種類と利用上の注意
		13:30	【講義】 多職種連携の在り方について
		14:00	【実習】 仮想事例を用いた模擬導入
15:30	質疑応答・情報交換	15:00	フィードバック・情報交換
16:15	終了	16:00	終了

## 問い合わせ

新潟県・新潟市難病相談支援センター  
〒950-2085  
新潟市西区真砂1丁目14番1号 西新潟中央病院内  
※参加申し込みは裏面をご覧ください



協力：国立病院機構 西新潟中央病院  
国立病院機構 新潟病院  
新潟市障がい者ITサポートセンター  
新潟県作業療法士会  
日本ALS協会新潟県支部  
新潟県難病医療ネットワーク

## ※ 講師紹介

本間武蔵氏（東京都立神経病院 作業療法士）

マイボイスの開発者のひとり（事前に録音した自分の声をパソコンに取り込む仕組みを作る）

この取り組みは患者に生きる希望を与え、闘病を支える家族の心も支えています。

その人がどう「いきる」ことができるかを一緒に考えその人らしく生きるためのお手伝いをさせていただいています。

## 難病 IT コミュニケーション支援講座 参加申込書

※導入編・実践編どちらも申込みできます。

※ホームページからでも申込できます。

電話でお申し込みの場合				
025-267-2170				
(午前 10 時～午後 4 時)				
FAX でお申し込みの場合				
025-267-2210				
メールでお申し込みの場合				
niigata-nansen@nifty.com				
氏名	所属	職種	連絡先 (複数申込の場合代表者)	希望する 講座
				<input type="checkbox"/> 導入編 <input type="checkbox"/> 実践編
				<input type="checkbox"/> 導入編 <input type="checkbox"/> 実践編
				<input type="checkbox"/> 導入編 <input type="checkbox"/> 実践編
				<input type="checkbox"/> 導入編 <input type="checkbox"/> 実践編
				<input type="checkbox"/> 導入編 <input type="checkbox"/> 実践編

備考（講義に入れてもらいたいこと、疑問などありましたらご記入ください。）